

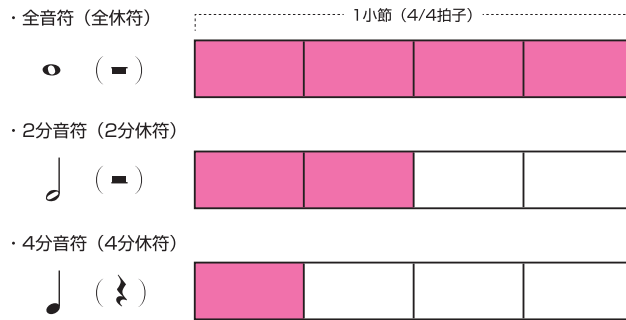
【注意点1】



きちんと覚えている？
音符の長さを確認せよ

ここでは、このエクササイズに登場する3つの音符（休符）を紹介しよう（図1）。ロックでよく使われる4/4拍子で、音を1小節分（4拍分）伸ばした音符を“全音符”と呼び、全音符の半分の長さが“2分音符”、さらに半分（全音符の1/4）の長さが“4分音符”となる。ちなみに、このように半分ずつ分けてできる音符を“単純音符”と言う。

図1 音符と休符の長さ



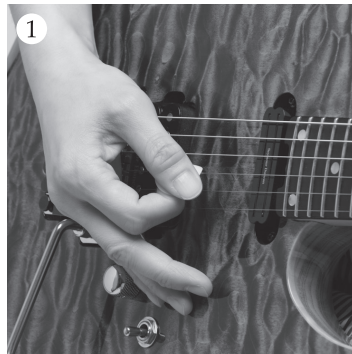
※各音符のひとつ分の長さを表している。

【注意点2】

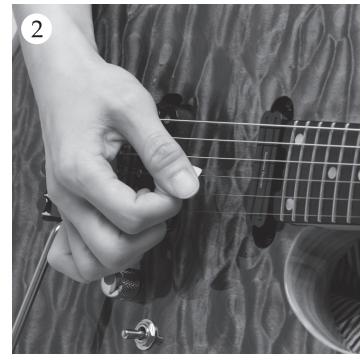


かみに注意しながら
ピックを握ろう

続いて、ピックの基本的な持ち方を解説しよう。最もポピュラーな“順アングル”は、人差し指を曲げて親指と挟み込むようにピックを持ち、ほかの指は伸ばす持ち方となる（写真①）。ピックを強く握り込み過ぎないように気をつけよう。ちなみに、筆者は、上記の持ち方に加えて、手首を速く振ることができる“手を軽く握る”フォームも活用している（写真②）。



順アングルのフォーム。中指、薬指、小指は、ボディに置いてよい。



中指、薬指、小指を軽く握るフォーム。手首を速く振りたい時に活用するのがお勧め。

【注意点3】

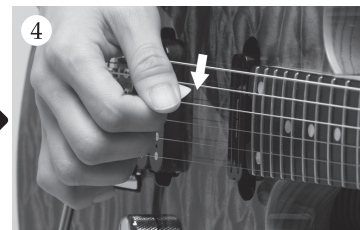


鳴らす弦を変える時には
手首も移動するべし！

TAB譜上に“■”というマークで表される“ダウン・ピッキング”は、その名のとおり上から下に向けてピックを振るスタイルとなる。狙った弦以外を弾かないように、右手を正確にコントロールしよう。メイン・フレーズ3小節目の6弦から5弦への弦移動は、指先だけではなく、手首も移動するようにするとよい（写真③～⑥）。



メイン・フレーズ3小節目1拍目。ピックを弦に当てて…



下方向に振り抜こう。次の5弦の準備も忘れずに。



3拍目では、5弦開放をダウンで弾こう。



手首も下方向に移動しよう。

【TAB譜】五線譜が苦手なロック・ギタリスト御用達の譜面。しかし、その誕生は、現在の五線譜よりも古い。ちなみにTABは、Tablature（タブラチュア）の略。